

解説 現場のサポート

現場情報を携帯メールで全社員共有化 過去の工事例を踏まえた 施工前検討会でトラブルを回避



もり ゆうじ
森 勇二
サン・シールド(株)

1 はじめに

公共事業費が年々減少し、全国の下水道普及率も70%を超え、推進工事の仕事量が減り続けています。一方、施工現場においては小口径・大口径にかかわらず複合地盤での長距離・急曲線推進・狭いヤードでの施工など難しい施工条件が増えてきており、現場の技術力がより一層必要な工事が増えています。

現場のサポートとして個別に全国各地の現場へ出向くことが難しいケースもあることから、簡易に全体の現場状況を把握・サポートを行なうことができるように考えたものを簡易ではありますがご紹介したいと思います。

2 現場状況の共有化の手段

現場のサポート体制を確立するには、最低現場の詳しい状況報告が必要であると考えられます。そこで、誰でもどの場所においても簡単に情報確認ができる携帯電話のメール機能を利用しています。

推進工事の現場は、都市部での下水道新設工事がほぼ完了しており、市街

地から郊外へと移行しています。情報伝達手段としてのパソコンを利用したメールも有効な手段と考えられますが、現場の施工条件等によりインターネット等の通信設備が現場近隣に構築することが困難な場合や、コストダウン・施工サイクルの短縮など時間と経費のバランスが悪く、簡易な環境整備が厳しい場合があるため、現場ごとの設備投資が不要な携帯電話の機能を利用することとなりました。

各現場からの情報は携帯メールによって部門に関係なく全社員へ送信されます。それにより、現場情報を全社員で共有し、トラブル時の対応までの時間短縮や工事部門だけでは判らなかった問題点を他部門からの指摘で解決できることや、保有推進機材の予定変更等の対応が容易になるなど現場のサポート体制を向上させることができました(図-1)。

3 現場支援と施策

上記の全社員による現場情報の共有化により、ムダやトラブル等の発生を抑えることはできるようになりました。

引き続き、工事開始後の話になり

ます。推進工事は、目視では確認できない地中を掘進する工事のため、工事開始前の検討が不可欠だと考えています。

現地踏査や立坑築造時の推進管路部地質の確認、地質サンプルを調達します。場合によっては推進工法用材料メーカーに材料と地質サンプルを持ち込んで試験を行い、試験結果に基づいた最適な材料の選定を行います。

つづいて、施工予定地近隣での過去の施工実績から、地質や推進延長等類似した施工を踏まえた上で施工前検討会を行なっています。また、現場条件や特性に応じた経験者等の選任も考慮します。これら当たり前と思われることを確実にこなうことで、現場担当者一人では考えつかなかった問題点・留意点に対処できるなど、施工トラブルは少なくなると考えています。

当社は、ISO9001シリーズを取得しておりISO基準の現場管理を行っています。当社独自の品質マニュアルに基づいてPDCA(Plan-do-check-act)の実行を確実にこなうようことで施工品質の向上を目指しております。

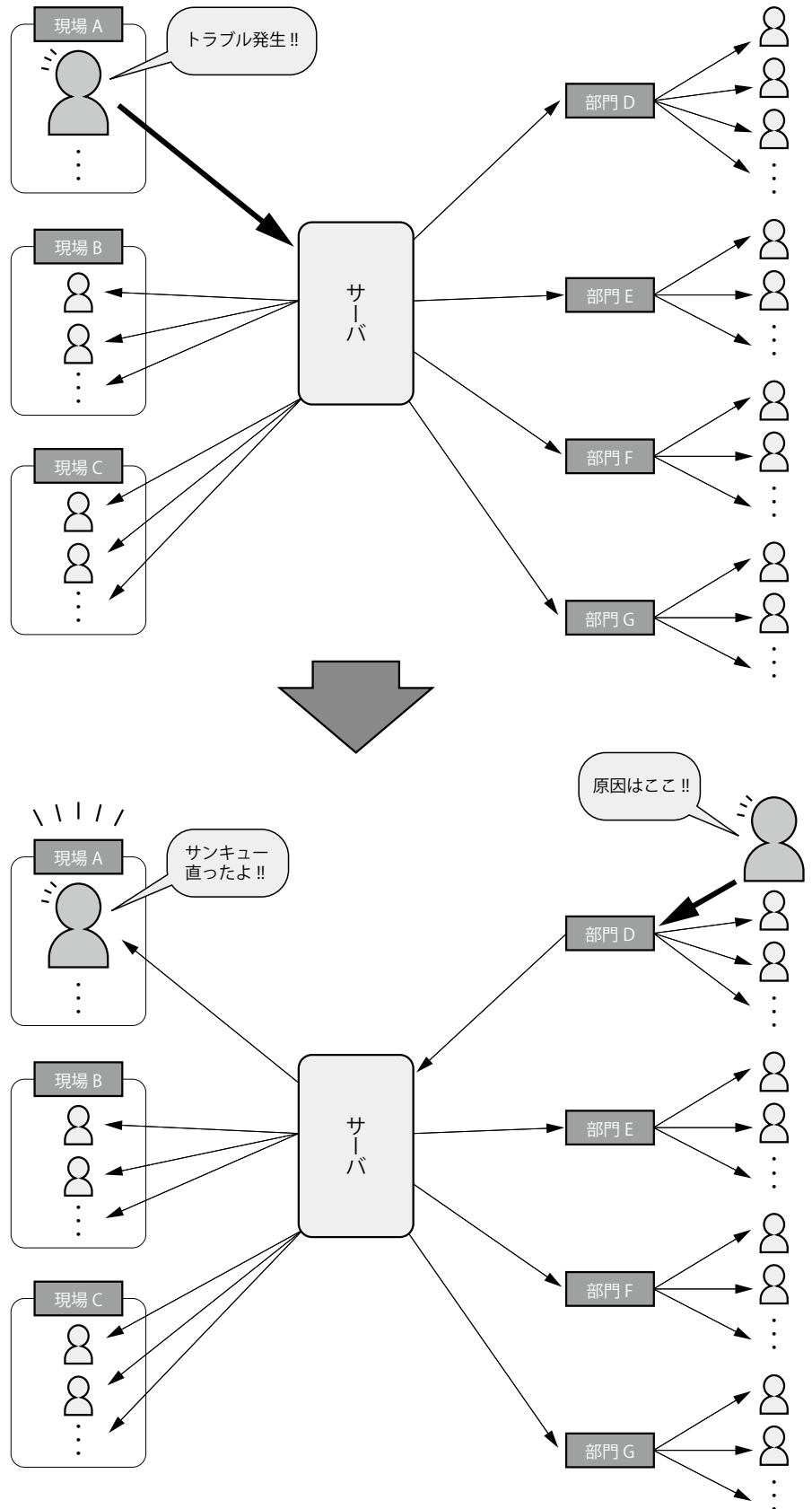
4 おわりに

推進工事は、各現場を確実に完了させるという会社全体の結束力が不可欠だと考えます。一人が会社全体のことを会社全体が一人を考えていける環境をより一層高めていければ、ムダやトラブルのない高品質の施工を社会に提供できると思います。

最新情報としてラムサス工法では、泥水式の掘進機を作成し、無事に施工完了いたしました。近々ご報告できれば幸いです。最後に今回ご紹介したことが他の推進工事業者様に少しでもお役に立てばと思っております。

○お問合せ先

サン・シールド(株)
 本社
 〒444-1154
 愛知県安城市桜井町城阿原28
 Tel : 0566-99-6860
 Fax : 0566-99-6861
 名古屋支店
 〒460-0002
 名古屋市中区丸の内三丁目16-34
 Tel : 052-951-1571
 Fax : 052-951-1593
 URL : <http://www.sunshield.co.jp/>



図一 携帯メールでの現場情報の全社員共有化システム